

科目名	生体防御機能解析学演習			分野・必選別・単位数	専門科目 (臨床検査技術学)	選択	2単位
科目責任者	◎教授 鈴木幸一 教授(兼) 榎村浩一 講師 黒田雅頭						
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を理解することを目指す。それとともに、抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発をめざす。						
授業の到達目標	①自然免疫分野の文献を調査できる。免疫系の異常を伴う疾患のうち、検査技術の点で注目されるものについて、新しい文献を調査できる。 ②応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。 ③抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発について説明できる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	1	鈴木 幸一	教 授		自然免疫分野の文献を調査できる。免疫系の異常を伴う疾患のうち、検査技術の点で注目されるものについて、新しい文献を調査できる。①		
	2	鈴木 幸一	教 授		自然免疫分野の文献を調査できる。免疫系の異常を伴う疾患のうち、検査技術の点で注目されるものについて、新しい文献を調査できる。②		
	3	鈴木 幸一	教 授		自然免疫分野の文献を調査できる。免疫系の異常を伴う疾患のうち、検査技術の点で注目されるものについて、新しい文献を調査できる。③		
	4	鈴木 幸一	教 授		自然免疫分野の文献を調査できる。免疫系の異常を伴う疾患のうち、検査技術の点で注目されるものについて、新しい文献を調査できる。④		
	5	榎村 浩一	教授(兼)		生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。①		
	6	榎村 浩一	教授(兼)		生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。②		
	7	榎村 浩一	教授(兼)		生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。③		
	8	榎村 浩一	教授(兼)		生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。④		
	9	榎村 浩一	教授(兼)		生体防御機能解析学講義において修得した知識をもとに、免疫応答が問題となる症例やさまざまな文献調査をとおして、応答生体防御反応のパターンとバリエーションを学ぶとともに、診断に役立つ検査方法の最先端と問題点を説明できる。⑤		
	10	黒田 雅頭	講 師		抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発について説明できる。①		
	11	黒田 雅頭	講 師		抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発について説明できる。②		
	12	黒田 雅頭	講 師		抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発について説明できる。③		
	13	黒田 雅頭	講 師		抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発について説明できる。④		
	14	黒田 雅頭	講 師		抗体、補体、細胞性免疫などを介する多様なアレルギー疾患の診断の改良や開発、輸血や移植の際に起こる拒絶反応を防ぐための適合性検査など、新しい方法や技術の開発		